

第一回肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会 議事概要

- 1 日時 令和6年6月27日(木) 14:00-15:30
- 2 場所 水俣市役所 2階会議室A B
- 3 参加者 出席者名簿のとおり
- 4 議事概要
 - (1) 肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会会長挨拶
 - (2) 議事
 - 第1号議案
 - ① 肥薩おれんじ鉄道の現状と課題の整理について(事務局説明)
 - ② 肥薩おれんじ鉄道における貨物輸送の現状(JR貨物説明)
 - 第2号議案: 現状等を踏まえた調査(委託)事業について(事務局説明)

【質疑応答・意見】

(肥薩おれんじ鉄道)

経営上の課題については現中期経営計画策定時にある程度整理を行ったが、中期経営計画を策定後2年経過し、社会情勢や社内の変化も生じており、計画を見直す必要があると考えている。

JRから引き継いだ資産が実際どういった形になっているのか、またその資産の有効活用について、まだまだ会社として認識が弱い。

今後、深く検討する必要がある。

(九州運輸局)

スケジュールについて、令和6年度は詰め込まれていて非常にタイトなスケジュールかと思うが、この任意協議会を何回開催する予定か。

また、何回目の会議で何を決定する、などより詳細なスケジュールがあるとよいと感じた。

(事務局)

任意協議会は3回程度の開催を予定している。

また、第二回委員会では調査事業の中間報告を、第三回委員会では方向性の議論をとりまとめた。

その後、法定協議会へ移行する場合も3回程度を予定している。

(九州運輸局)

調査内容は本日決定するのか。

(事務局)

本日決定し、7月早々には外部コンサルへ委託したい。

(熊本県)

資料のアンケートにあるとおり、自家用車率が高く、おれんじ鉄道に乗ったことがない方が7割もいることに、改めて興味深く見ているところ。

数値として現れるものではないが、その地域に鉄道があるというアドバンテージを沿線住民が自覚する、すなわち住民が鉄道にコミットする、マイルール意識を持つということは、鉄道の持続可能性を間違いなく高める効果があると思っている。

公費を出すのであれば、住民の皆さんがおれんじ鉄道に価値を見いだすような投資という、前向きな目線で考える形で議論していきたいと思っている。

(鹿児島県)

地域が鉄道を大事にするからこそ、地域づくりという観点で、行政がそれを支援していく。単に観光だけでやっていこうというのではなく、地域住民が価値を見いだす必要がある。そういう視点で検討を進めていきたい。

(出水市)

資料7ページに『『まちや地域づくり』の観点を取り入れていくことが重要』や22ページの調査内容に「駅の複合化等による」など記載があるが、駅施設等に対する沿線市町の考えを入れることはできないか。

(事務局)

具体的なプランがあれば出していただきたい。そのプランについて、実現したときにどのような効果が望めるか、などの調査は可能かと考えている。

また、今後沿線市の意見を取り入れるにあたって、社総交の実施計画を途中で修正可能か、についても国へ確認したい。スケジュール的に厳しいものもあるが、おれんじ鉄道との調整など、しっかりと折り合いを付けていきたい。

(八代市)

各沿線市町の計画はいつごろ見直しをしないといけないのか。

(九州運輸局)

社総交の活用実施計画策定時にあればベストかと思うが、具体的な時期については再度確認して回答したい。少なくとも令和6年度中に見直しをしてください、ということはない。

(芦北町)

実施計画または総合計画，どちらに記載があればいいのか。

(事務局)

各沿線市町には様々な計画があると思うので，変更が必要な計画については九州運輸局とも相談しながら進めていきたい。

(水俣市)

定期利用の高校生もおれんじ鉄道にとって重要であり，域内の高校生がどのように移動しているのか分析できないか。その分析をもとにおれんじ鉄道を使って通学する仕掛けができないか，スクールバスと競合していないか，など確認したい。

(事務局)

スクールバスも人手不足や燃油高騰などがあり，おれんじ鉄道の定期の方が有利な場合があるかもしれない。まずは現状把握から実施していきたい。

(熊本県)

県立高校は学年ごとに生徒の通学手段のデータを持っている。例えば学校にアンケートにご協力いただいて可能性を探ることは可能かもしれない。

(肥薩おれんじ鉄道)

学校毎の定期券の販売状況のデータは保有しているので，有効活用してほしい。

※ 議案 1・2号は委員，全員了承となり原案可決